

* 機械器具 48 注射筒
一般医療機器 歯科麻酔用注射筒（35969000）

** シトジェクト

【警告】

- ・本品は患者ごとに洗浄・滅菌すること。
- ・注射針や麻酔薬カートリッジは患者ごとに交換すること。

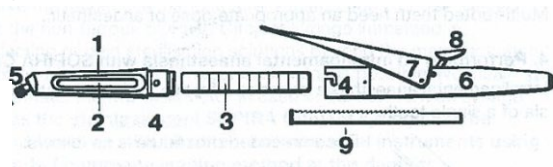
【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

注射針の取り付けは、麻酔薬カートリッジ装填後に行うこと。[麻酔薬カートリッジに液漏れが発生するおそれがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

1) 形状・構造：



- (1)アングルパレル(又はストレートパレル)
- (2)カートリッジビューチャンパー
- (3)プロテクトチューブ
- (4)接続部
- (5)ネジ切りノズル
- (6)ハンドピース
- (7)フィンガーレバー
- (8)リリースボタン
- (9)プランジャー

2) 材質：

アルミニウム合金及びステンレス
プラスチック（プロテクトチューブ）

【使用目的又は効果】

歯科用局所麻酔カートリッジ及び滅菌針を用いて歯科用局所麻酔薬を投与するために用いる歯科用器具。
本品は再使用可能である。

【使用方法等】

1) カートリッジ装着

- ①接続部を回し、パレルとハンドピース本体を分離します。
リリースボタンを押しながら、ハンドピースを上向きにしてプランジャーを引き戻します。
- ②パレルにプロテクトチューブを挿入し、次に麻酔薬カートリッジを装填した後、ハンドピース本体に接続します。
- ③フィンガーレバーを少し抵抗があるところまで押してプランジャーを送り、麻酔薬カートリッジを固定します。
最後にディスプレイ注射針（0.3mm×12mm、0.3mm×16mmを推奨）を装着します。
- ④フィンガーレバーを押し、液が出るのを確認してから使用してください。

2) 操作

フィンガーレバーを1回押すごとに麻酔薬 0.06ml を注入します。

3) 歯根膜靱帯内麻酔

①消毒

刺入点は歯垢・歯石を除去し、十分な消毒を行ってください。

②刺入

注射針を歯軸に沿わせて歯肉溝に、注射針先端部より約1-2mm刺入してください。針先は歯槽骨縁より深く入れないように注意してください。

注射針を歯根に対し、約30°の角度をもたせて歯頸部上方の歯面に針先を当ててください。

次に針先を歯面に添わせて、根尖方向に刺入してください。

正しい位置に刺入している限り、一定で持続的な内圧をフィンガーレバーを通じ感じるができます。この内圧を継続して感じる事が、根尖へ麻酔薬を浸透させる為に必要です。

刺入はゆっくりと均一に行ってください。

③注入

フィンガーレバーへの加圧は時間をかけて、出来るだけゆっくり行ってください。

【使用方法等に関連する使用上の注意】

- 1) 急激な圧力や強い圧力をかけると、カートリッジ破損の原因になるので避けること。
- 2) 注入時、フィンガーレバーに抵抗が感じられない場合は、麻酔薬が軟組織に漏れている可能性があるため、刺入点を変更すること。
- 3) 数ヶ所に連続して刺入すると、針先が傷み刺入痛を感じる場合がある。その場合、新しい針に交換すること。
- 4) レバー操作終了後も麻酔薬の流出が続いているため、すぐに針を抜かないこと。
- 5) 最後までレバーを操作しても麻酔薬が残る場合がある。これは過圧による麻酔薬カートリッジ破損の防止を目的としたもので、本品の品質に問題はない。
- 6) 使用後は次の事項に注意すること。

・使用後は直ちにハンドピース本体、パレル、プランジャー、プロテクトチューブ、麻酔薬カートリッジ、ディスプレイ注射針をそれぞれ分離し、本品は以下に従い洗浄、滅菌すること。
尚、麻酔薬カートリッジ、ディスプレイ注射針は破棄すること。

【洗浄】

- ・全ての部品は、温流水で洗浄すること。
- ・酸性又はアルカリ性溶剤を使用しないこと。
- ・洗浄剤及び消毒剤を使用する場合、製造業者の説明書に従うこと。
- ・本品は超音波洗浄をすることができる。

- ・水洗後は、エアーシリンジを用いるなどして完全に水滴を切ること。

【滅菌】

- ・オートクレーブでの滅菌は上限温度 135℃までで行うこと。
 - ・本品は分解した状態で滅菌を行うこと。
 - ・プロテクトチューブは、他の金属製部品と離し、オートクレーブ滅菌器で上限温度 135℃までで滅菌すること。乾燥機能は適用しないこと。また、乾熱滅菌も行わないこと。
 - ・乾熱滅菌は上限温度 180℃までで行うこと。なお、乾熱滅菌により、変色を認める場合があるが、機能に影響を及ぼさない。
- 7) 全ての部品は完全に乾燥させた後、組み立てること。
注油する必要はない。
- 8) 麻酔薬が漏れた状態のまま組立、保管すると、本品内部で結晶化し、フィンガーレバーの作動不良、サビの発現、ハンドピース本体とバレルの分離困難等の原因になる他、針穴の詰まりなどの現象が生じる場合があるので、避けること。

【使用上の注意】

- 1) 重要な基本的注意
- ① 歯根膜が健全でない症例には、十分な麻酔効果が望めないことがある。
 - ② 針の深い刺入や麻酔薬の急激な注入は、歯根膜の炎症を起こす恐れがある。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：クルツァー ジャパン株式会社

住所：〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町4-174

電話番号：03-5803-2151（代表）